

ちくたく

岡輝中学校校長 服部道明

はじめまして。今年4月より校長として岡輝中学校に赴任しました服部です。私は平成3年から平成13年までの10年間、教員として本校に勤務しましたので、20年ぶり2回目の岡輝中学校です。どうぞよろしくお願ひします。



さて、この20年の間に、岡輝中学校区は大きく変化しました。まず、平成14年度から、清輝小・岡南小・岡輝中の3校が国の「新しい学校運営の在り方に関する実践研究」の指定を受け、地域の方や保護者が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の研究が始まりました。また、その研究主体として地域学校協議会（現在の「学校運営協議会」）が立ち上がり、学区の子どもたちに関する課題や具体的な対策の議論を開始しました。その議論の中で、平成15年度より試行を始め、翌年度から本格スタートしたのが「シニアスクール」であり、平成18年度から中学校区全体の行事として開始したのが「つながれ岡輝」です。これらの取組は現在も続いています。当時から現在まで関わってくださった地域の方、保護者の皆さん、そして学校園の先生方がつながり、大切に育ててくださったからこそ継続できていると思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

実は、平成14年度に国の研究指定を受ける際、私は岡山市教育委員会の事業担当者でした。教育行政という右も左もわからずにもがいていた私にとって、古巣の岡輝中で開かれる月1回の地域学校協議会に参加することは、とても嬉しかったのを覚えています。ただ、立場が変われば考えること、判断することは異なります。シニアスクールに空き教室を提供することは可能か、学習が苦手な子どもたちの補充学習を行うのに人的保障はできるか、岡輝学区以外にこの取組を広げていくにはどうすればよいか…研究の内容だけでなく、組織や予算の編成等も含めて、行政の立場で責任ある回答するのは大変でした。しかし、そんな時でも、当時の委員だった地域や保護者の方々をはじめ、校長の先生方に励ましの言葉をいただいたことは今でも忘れられません。

現在、全国でコミュニティ・スクールの導入が進められていますが、岡山市では、令和元年度末までに全ての幼稚園（こども園）、小・中学校が岡山市版コミュニティ・スクール「地域協働学校」に指定されました。令和2年度の全国の幼（こ）・小・中の平均導入率が約28.3%ですから、岡山市は全国に先駆けていると言えます。平成17年度、岡輝中学校区が第一号指定を受けたことからスタートしたこの事業がここまで広まったのも、本学区の取組の成果が高く評価されたからだと感じ、大変誇りに思います。

最後になりましたが、私は岡輝中学校区が文字どおり「岡山で一番輝く学区」だと思っています。岡輝中学校区の「宝物」である子どもたちが輝くことを願って、地域や保護者の皆様、そして私たち教職員が力を合わせれば、更に強く大きな輝きになるはず。コロナ禍でこれまでどおりの活動は難しいですが、地域協働学校の取組を通して、これからつながっていきましょう！



「岡輝中学校区地域協働学校(コミュニティ・スクール)への期待」

(文責) 森谷正孝

はじめに

岡輝中学校区の岡輝中、清輝小、岡南小は平成14年から平成16年の3年間文部科学省より「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究」の指定を受けました。この実践研究は、地域協働学校（コミュニティ・スクール）設置のための法律を作るためのもので、全国7地区9校が指定されました。平成16年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律47条5」が成立し、平成17年に岡輝中学校区は県下第1号の地域協働学校（コミュニティ・スクール）になりました。

特色的な取り組み(学校運営協議会)

- ①法律では単独校園の設置に関する法律ですが、岡輝中学校区は0歳から15歳までのタテ連携を重視し岡輝中学校区の学校運営協議会として運営しています。
- ②協議会は地域・保護者の代表、有識者、平成29年の社会教育法の改正による地域学校協働活動推進員、当初より地域に対して公募によって選出された委員によって運営されています。
- ③協議会は8月を除き、11回開催しています。そのうちの2回は拡大協議会として、岡山南高校を含め私立の幼稚園・保育園が出席し、情報交換をしています。

これまでの取り組み

平成10年から平成11年の2年間の岡山東署パイロット指定、平成11年から平成13年の3年間の岡山県指定「いきいきスクール支援事業」を通して岡輝地区青少年保護協議会（岡輝地区青少年育成協議会）を活動母体として多くのイベントを行い地域のネットワークを築いてきました。さらに、学校運営協議会と地域の連携・協働により「NPO法人子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール」を学区の岡輝中、清輝小、岡南小に開校し、19年目を迎えています。学校園では、保・幼・小・中のつながりも進み毎年の夏季研修も定着してきました。連携の証としての「岡輝版子育て法」さらに平成19年から実践に入った協同学習により連携から一貫を実現できるようにになりました。現在でも「みどりの林檎」、「つながれ岡輝」、地域と協同学習につながる「イメージアップ岡輝」などは他学区にはない中学校区の素晴らしい取り組みとして継続されています。

地域協働学校(コミュニティ・スクール)のこれから

地域協働学校1号指定から17年目を迎えています。作るべきどこにも負けないエネルギー、さらに「新しい公共型の学校」「地域とともにある学校」など全国的な動きの中で、時代の変化に対応し、中学校区に根ざした取り組みを継続してきたと思っています。そして今、「子どもたちの未来創造に向けて、社会総がかりの教育の実現」が求められる中、再スタートの時を感じています。ここで、新しい何かを作ろうとするのではなく再検討をしてみてもどうかと思います。例えば「子ども像」を共有し、現在の取組がどんな力を身につけようとしたものなのか。教科や総合的な学習の時間、特別活動の時間に地域や地域外の人にどのような力を借りているかなどを再点検し、「社会に開かれた教育課程」づくりを進めていくことが求められています。未来に生きる子どもに必要な「生きる力」を育てるためには学校枠を超える発想や、協同学習の理念の一つ「最高の学び」をめざす「教育課程」を先生方の力で作ることにより学校と地域がより繋がっていくと思います。そのためには、「学校運営協議会」は学校応援団としてPDCA機能も意識しながら、レベルアップしていくことが求められていると思います。

2021年度の岡輝中学校区学校運営協議会委員

- 1 高柳 光成 (会長・地域部) ……元芳田小学校長
- 2 熊谷 慎之輔 (スーパーバイザー) 岡山大学教育学部教授
- 3 森谷 正孝 (NPO代表) ……元岡輝中学校長
- 4 中原 一郎 (地域部) ……清輝学区連合町内会会長、元清輝幼・小・岡輝中PTA会長
- 5 藤井 敏明 (地域部) ……岡南学区連合町内会会長、元岡南小PTA会長
- 6 宮井 宏 (地域部) ……元岡南小学校長
- 7 藤田 裕子 (地域部) ……清輝学区民生児童委員
- 8 増川 英一 (地域部) ……県議会議員、元岡輝中学校PTA会長
- 9 遠藤 隆宏 (副会長・地域部) ……元岡輝中学校PTA会長
- 10 岩上 房江 (地域部) ……元清輝小PTA副会長
- 11 酒井 淑 (地域部) ……元岡南小学校PTA副会長・岡南学区民生児童委員
- 12 高田 充巳 (地域部) ……元岡南小学校PTA会長
- 13 田中のぞみ (地域部) ……市議会議員・愛育委員
- 14 三村 康彦 (地域部) ……元岡南小学校PTA会長・岡南学区民生児童委員
- 15 鈴木 祥成 (地域部) ……岡輝みんな食堂 副代表
- 16 小林 洋 (地域部) ……岡輝公民館長
- 17 前田 正 (地域部) ……清輝児童センター 館長
- 18 福岡 夢子 (副会長・PTA部) ……岡輝中学校PTA会長
- 19 副島 梢 (PTA部) ……岡南小学校PTA会長
- 20 芥田 健作 (PTA部) ……清輝小学校PTA会長
- 21 服部 道明 (副会長・学校園部) 岡輝中学校長
- 22 余公 俊晴 (学校園部) ……清輝小学校長
- 23 森 淳 (学校園部) ……岡南小学校長
- 24 高原 智美 (学校園部) ……岡南認定こども園長
- 25 兼光香代子 (学校園部) ……清輝保育園長
- 26 白石久美子 (行政部) ……岡山市岡山子育て育成局 保育幼児教育部幼保課 保育副専門監
- 27 月本 勲生 (行政部) ……岡山市教育委員会事務局 学校教育部指導課 指導副主査
- 28 小野寺達明 (事務局長) ……岡輝中学校教頭



広がれ笑顔

岡南認定こども園 園長 高原智美

ある日、お店やごっこをしている子どもたちから「園長先生、買いに来て〜」と誘われ、張り切って買い物に行きました。子どもたちから声をかけられると思わず笑顔になり、足取りも軽くなります。部屋に入って棚に並べられた品物を見ていると、隣にいたAちゃんが「これください」と品物を指さし、

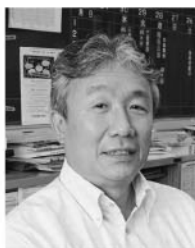
何やら四角い箱を手を持ち差し出しています。するとお店屋役のBちゃんがそれを読み取りながら「ペイペ〜イ」と一言。なんと、バーコード決済が遊びの中に取り入れられていてびっくり。確かに今は、現金をやり取りする機会が減ってきています。子どもたちを取り巻く環境の変化が遊びに反映していくことを感じる出来事でした。そして、子どもたちに大きな影響を与える環境の一つであるこども園での生活。私たちは様々な状況や変化をしっかりとらえ、対応しながら教育・保育をしていくように心がけています。

また、こども園では、子どもたちが自分のことを守ってくれる大人が周りにいることを感じ、自分は守ってもらえるという安心感をしっかり持てるようにすることが大切だと考えています。子どもは安心感があるからこ

そ難しい事にも挑戦したり、粘り強く取り組んだりする力を発揮することができます。そしてそれは自分で身に付けることができるものではなく、周りの大人に気持ちに寄り添ってもらうことで育まれていくものです。ぎゅっと抱きしめてもらえる心地よさ。「おはよう」「大好きだよ」「頑張ったね」「悲しかったね」「一緒にやってみよう」そんな一言が子どもの心に響きます。自分を見守ってくれる大人が多ければより安心感は深まるでしょう。子どもの成長に、そして私たち職員にとって岡輝中学校区のつながりや地域の方から声をかけていただくことは心強いものとなっています。

今年は中学校区の取組の一つである「岡輝版・子育て法」の冊子から、毎月1ページずつ園だよりに掲載し、保護者の方の目に触れやすく参考にしていただけるようにしています。今はコロナ禍で周りの人とかかわっていくことが難しい時期です。少しでも早く地域の方との交流が再開できるようになることを願っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

私自身、子育て中は時間に追われ、してあげたくてもできないことに落ち込みながらも、子どもの姿に励まされるということの繰り返しでした。そんなことを懐かしく思い出し、子育て真最中の保護者の方が少しでも“子どもとゆっくり遊べた”“一緒に過ごせて楽しい”と感じる時間が持てるように、園ができる事にしっかり取り組んでいきたいと思ひます。



「コネ」に魅せられて

岡輝中学校 教頭 小野寺達明

昨年4月より岡輝中学校にお世話になって1年半余り、コロナ禍により通常通りの学校運営とはならず、子どもたちに申し訳ない場面も少なからずありました。何とか無事に勤めさせていただいています。

私は新任教頭として岡輝中学校に参りましたが、実は赴任当初のとある日、以前お世話になった先生が相談主事として岡輝学区のご担当でおられ、その方から満面の笑顔で「パラダイスへようこそ！」とのお言葉をいただくということがありました。ご存じのとおり、パラダイス＝楽園です。「えっ、岡輝が楽園?」「どうしてそうなるの?」…。あまりの想定外の言葉に、ほとんどプチパニック状態になったことを思い出します。これはあくまで以前の私の認識ということで受け止めていただきたいのですが、教員にとって岡輝中学校は一種独特のブランドイメージをもった唯一無二の存在ではないかと思ひます。赴任前の私はこのイメージをもっていたので、当然ですごどうしようもないくらい緊張し、不安だらけのスタートを切ることになったわけです。しかし、日々を過ごす中で早々にして不安は解消し、今ではこの岡輝中学校区に身を置くことに心から感謝し、誇らしさをもって日々を過ごさせていただいています。

かなり前段が長くなりましたが、では、いったい何が私の認識を180度変えたのか、この点がお伝えしたいところです。それは端的に言いますと、この学区に普遍的に存在する「コネ」を経験し、その素晴らしさを

知ったからでした。一般的に、コネという日本語は「コネがある」「コネをつかう」などのフレーズに見られるように、なんとなく後ろめたい、どこかネガティブなイメージをもって用いられます。しかし、コネの語源である「コネクション」の英語の“connection”という単語は、実はしっかりと「つながり」「結びつき」、そして「縁」といったポジティブな意味内容で用いられます。

日々を過ごす中で感じるごととなったのですが、岡輝中学校区では「教員同士のコネ」、「子どもたちと教員のコネ」、「子ども同士のコネ」、「保護者の方々と教員のコネ」、「学校園同士のコネ」、「地域の方々同士のコネ」、そして「学校園と地域社会とのコネ」など、本来の意味での確かなコネクションが存在しています。これまでいろいろな学校を経験してきましたが、この岡輝中学校区においてほど、様々な場面でのつながり・結びつき感、そして何よりも温かな縁を感じたことはありません。まさにこの点に「岡輝はパラダイス」と言わしめる所以があるのでは、と私は理解しています。

では、何によってこの岡輝中学校区のコネを脈々と形づくられてきたのでしょうか。それはこの「ちくたく」にも現れているような地域の方々の惜しみない協力、見守り、支え…、そして、それらがあるからこそ生まれる各学校園の献身的な取組を支えるパワー、であることは間違いありません。

今私はこの見事に育まれたコネに魅せられ、岡輝中学校の一員としてとてもありがたい気持ちで勤めさせてもらっています。また、おそらくは他の教職員も、そしてこれまで岡輝に関わったすべての方々も同じような気持ちを持っているのではと思います。これまでも、そしてこれからも、岡輝のコネに誰しもが魅せられることでしよう。



地域と共に歩む

清輝児童センター 館長 前田 正

今春着任してから、はや数か月が過ぎました。いつの間にか蝸の声も聞かれるようになり、季節は変わり、秋を迎えようとしています。しかし、この数か月間も新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの運営となり、子どもたちのみならず、地域の皆様方にも制約をお願いする日々を続けていただくこととなりました。ご協力に感謝申し上げます。

児童館の活動として、「遊びによる子どもの育成」「子どもの居場所の提供」「子育て支援の実施」「地域の健全育成の環境づくり」などがあげられています。

センターでは、さまざまな子どもたちが年代を超えて遊ぶ姿が見られます。その中では、遊びのルールはもちろんのこと、誰もが楽しく遊べるようにと互いへの思いやりから生まれるルールもあります。そうして、子ども同士や児童厚生員とともにコミュニケーション力を育てながら、学びあい、支えあい、成長しあう姿が生まれているようです。また、活発に運動に興じる子、ボードゲームを囲んで遊ぶ子、本を熱心に読む子など、それぞれの居場所があります。

毎週木曜日には、幼児親子の会「チュンチュンクラブ」を開催し、乳児や幼児とご家族がともに運動や遊びをしたり、工作をしたり、お話を聞いたりして、交流も深めていただいています。今年度からは、火・水・木曜

日を拠点事業日として、子育て相談も受けています。センター2階に、幼児の部屋と赤ちゃんの駅（授乳・おむつ交換）を整備し、安心して親子遊びをしていただけるようにと工夫を重ねています。

残念ながら、コロナ禍にあって、地域の皆様をはじめ、福祉交流プラザ岡輝様、中学校区学校園のお力をいただき、開催される予定であった「せいきふれあいまつり」「夏休みお楽しみ会」などの行事を断念することとなり、子どもたちの健全育成のための環境づくりへの皆様の思いをかなえることができないでいます。しかし、地域の皆様や中学校区の学校園の先生方がセンターに足を運び、声をかけていただき、子どもたちを見守る姿は、子どもたちの健全育成のための環境づくりに大きな役割を果たしていただいております。その思いは、子育て世代にも受け継がれ、培われていると感じています。

これまで感じてきたことは、本館が常に地域と共にあり、地域の愛情に支えられ、歩みを共にしているということです。そして今、コロナ禍にあっても、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所としてこの地にあるということです。地域の皆様には心より感謝申し上げます。また、この土壌づくりには、学校運営協議会の目指す姿勢が反映され、学区で取り組まれてきた、協同学習の力が子どもたちの姿に表現されていると思ひを強くしています。

この数か月、私の未熟な館運営により、ご心配をおかけしたことも多々あったかと思ひます。職員一同、今後も子育ての拠点の一つとして努力してまいりますので、子どもたちのために地域のお力をお貸しいただきましたら幸いです。よろしくお願いいたします。

輝いてるね！ がんばっているひとたち



コロナ禍での体育会 岡輝中

本年度もコロナ禍の影響で開催が危ぶまれた体育会でしたが、感染予防対策を徹底し5月14日(金)に無事実施することができました。

昨年度と同様に、時間短縮のため実施種目を厳選し、演技時間の短縮を図り、ソーシャルディスタンスを十分確保するため生徒応援席用のテント数を倍に増やすなどしました。

様々なことを制限した中での開催となりましたが、子どもたちは「できる範囲の中で思いきり楽しむ」ことを合い言葉にベストを尽くしました。開催中に、岡山においても翌々日から緊急事態宣言が発令されるといったニュースが届いたりするなど、まさにギリギリでの開催となりましたが、岡輝中学校全体が一丸となり熱く燃えた一日となりました。

保護者の皆様、感染予防に協力いただきながら多数のご参観をいただき、たいへんありがとうございました。



令和2年度 岡南小学校6年生 岡南小

岡南市PTA協議会 ふれフレ大賞「善行部門」団体受賞!!

コロナ禍において、新型コロナウイルスの感染の恐れもある中、懸命に闘う医療従事者を応援しようと、令和2年10月15日岡山日赤病院へ6年生の児童70名が応援メッセージボードを贈りました。この行いが認められ岡南市PTA協議会ふれフレ大賞「善行部門」(団体)を受賞しました。



岡山市長杯優勝しました！ 清輝ミニバスケットボールクラブ

- 〈岡南小〉
 - 6年生 宮武光祐さん
 - 楠本海斗さん
 - 清水アンドレさん
 - 5年生 小郷晃平さん
 - 2年生 大立時葵さん
- 〈清輝小〉
 - 5年生 才本聖信さん
 - 4年生 佐宮大和さん



令和3年7月20日 山陽新聞

岡山県環境文化部長賞を受賞！ 岡南小

令和3年度岡山県児島湖流域環境保全推進ポスターコンクールで面島胡葉さんが岡山県環境文化部長賞を受賞しました。



祝 岡輝みんな食堂 4周年!!

この10月で岡輝みんな食堂も4周年、11月には40回目を迎えることとなります。これまで食堂を続けてこられたのは、ひとえに地域に皆様のご支援、ご協力なくしては考えられません。いつもありがとうございます。

昨年より発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響で、食堂の運営が困難な状況となりましたが、岡輝みんな食堂としてなにかできることはないかと考え、新たに三つの活動を始めました。

まず一つ目として、昨年8月から今年の3月まで実施したお弁当の配布事業です。(株)三好野本店のご協力のもと、様々な助成金や寄付金を活用し、「わか弁当」と名付け、毎回、100~130食の申し込みがあり、地域の子育て家庭や一人暮らしの高齢者を対象に配布させていただきました。

次に、食料品や生活用品を無料で配布する「フードパントリー活動」です。みんな食堂には様々な企業や団体、個人の有志の方より、沢山の米や野菜、レトルト食品、日用品などご寄付があり、それを活用させていただいています。この活動は、みんな食堂を再開しても継続して実施しています。

三つ目は、子どもの居場所事業「ゆうやけすくーる」です。この活動は奥田にある蓮室コンサルタント事務所の蓮室光雄さんと協働で地域の小学生を対象に、毎月第4水曜日の16時から18時まで蓮室さんの事務所をお借りして開催しています。現在は約5名の子どもたちが参加して、宿題をしたり、遊んだり、お話ししたりと自由に参加できる場となっています。



地域の住民の皆さんもボランティアで参加してくださり、宿題を教えたり、子どもと一緒に遊んだりしてくださっています。

このような活動を取り組むなか、今回、岡輝学区の防災キャンプ実行委員会からお声掛けいただき、今年の防災キャンプにも参加させていただくことになりました。

これまで取り組んできた様々な活動がきっかけで地域の中で少しずつですが、私たちの活動を知っていただくことができ、通常のみんな食堂にも子どもたちの参加が増えています。地域のお年寄りや若い世代の方もボランティアで定期的に参加して下さるようになって、ようやくですが、私たちの思いが形になりつつあります。

これからも地域の皆さんといっしょに、この「岡輝みんな食堂」を続けていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いたします。

「はじめてさんも、お馴染みさんも、だれが来てもOKのちいさなコミュニティ。困ったとき、もしものときに助けあえる、顔の見えるつながりづくりのために。支えたり支えられたりできる、支えあいの仕組みとして機能するように。作る人。食べる人。資源を集める人。見守る人。寄り添う人。声をかける人。だれも孤独ではなく、それぞれにささやかな役割のある場所を目指して」

ここはみんなの食堂です。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。
「岡輝みんな食堂」代表 圓山典洋



「コロナ禍に負けない!」 公立学校園・2021年度前期の取り組み

1学期がんばりました! 岡輝中学校

令和3年度も新型コロナの影響により、日々の授業の学習形態や校内外の学校行事の実施などについて普段とは違う状況が続いています。「限られた状況の中でも、できることをしっかり考え、そして全力で取り組む」をモットーに、生徒や教職員がONE TEAMとなってがんばっています。



密を避けての入学式



生徒会が西川の植栽に参加しました



公開授業ががんばりました



1年生関谷研修



コロナにも暑さにも負けるな!! 清輝小学校 ～運動団子の取組～

コロナと猛暑のために運動不足になりがちですが、健康を維持するためには、適度な運動を続けることがとても大切です。そこで、楽しく主体的に運動・遊びに取り組むことで、身体づくり・健康増進と継続的な運動習慣づくりにつなげようと、体育委員会の児童が中心となって運動団子の取組を行いました。

「バランス感覚を養う運動」「リズムに合わせて体を動かす運動」「柔軟性を高める運動」の3つのカテゴリーの運動を、それぞれを1週間ずつ取り組みました。感染対策のために今年から1人1台支給されているタブレットパソコンを利用したり、中庭の芝生広場を利用したりするなど、工夫をしながら取り組みました。

3回取り組んだ運動のだんごには色を塗ることができます。全部色を塗ったパーフェクトの子もたくさんいました。1年生から6年生まで和気あいあいと楽しく取り組むことができました。



岡南小のよき伝統を 背中伝える6年生

コロナ禍の中、岡南小学校も7月7日に創立89年を迎えました。この歴史の中で高学年が引き継いできたよき伝統がたくさんあります。靴箱の靴のかかとを揃える、靴箱・廊下・玄関の朝そうじ、あいさつ運動など様々な伝統を岡南小学校の児童が受け継ぎ、高学年が手本を示すことでよき伝統として守ってきました。

1学期の終わりを迎え、6年生の児童がすべての教室を回り、給食の配膳台を磨き、ほうきのゴミを取り、手洗い場の流しをきれいにしてくれました。黙って無言で奉仕する後ろ姿は、何も語らず背中を下級生たちに新しい伝統を伝えているようでした。



コロナ禍での夏まつり 清輝保育園

昨年から続くコロナ感染予防をしながらの生活で、検温や消毒は、子どもたちの生活の一部となっています。

そんな中、夏まつりをしよう!ということになった5歳児は、グループごとにかき氷屋さんやわたあめ屋さんなど、したいものを選んで準備を始めました。友達と一緒に考えたり工夫したりしながら作り、それを使って店員や客になってやりとりを楽しんでいました。

クラス内だけでなく他クラスの子もお客さんとして来てくれるようになった頃、「お客さんがたくさん来るんなら、熱を測るのがいるかなあー」と言う子どもがいました。それを聞いた担任は、額で測る非接触型体温計をイメージしたのですが、子どもたちのイメージはタブレット型の顔を近づけるものでした。(今どきですね)段ボールに数字や顔をかいてできあがると、他の子どもたちもやってきて「ピッ」と言いながら順番に測って遊んでいました。

次に「待つところもいるよなあー」と気付いた子どもは、大きい段ボールを探してきて長椅子を作りました。その椅子には「はなれてすわってね」という表示もありました。

コロナ禍の生活様式に順応し、それを遊びに取り入れる子どもたちの発想に驚かされました。



旅行へ行こう!

5歳児が旅行ごっこを始めました。「どこに行こうか?」「動物に会いに行きたいね。」「動物に会うならジャングルに行こう。」などいろいろなイメージを膨らませながら、楽しい地図が出来上がっていきました。「何に乗っていく?」「船がいいかな?」と段ボール箱を探してきて友達と相談しながら、乗り物作りを始める子どもたちもいました。保育室の中には段ボール等で迷路ができ、ジャングルになっていきました。

「休みの日には、どこかへ出かけ」そんな生活が難しくなったコロナ禍でも、子どもたちはイメージを膨らませながら楽しく過ごしています。

岡南認定こども園





夏の思い出、水遊び!

楽しいね 水遊び!

岡南認定こども園

園では毎年夏になるとシャボン玉や泡遊び、色水遊びや砂場でのダイナミックな遊びなど、それぞれの発達、興味に合わせた水遊びを楽しんでいます。0歳児は初めて水遊びに出会う子もいます。トライの水をスコップですくったり、体に水がかかるのを喜んだり、ちょっぴり怖がったり…。1歳児が氷に触れて遊んだ時のことです。あまりの冷たさに手を引っ込めたり、触ってみたり冷たさを感じていました。子どもたちはいろいろな体験をしながら五感を動かしています。



大きいクラスになってくると、同じ氷遊びをしても捉え方や感じ方が変わってきます。氷の中に花を凍らせておくと、冷たさを楽しむだけでなく氷の中の花を取り出そうと友達と協力してどうにかして溶かそうとしたり、一生懸命削ってみたり…。といを使った水遊びでも、水は高い方から低い方へ流れるということに気づき、組み合わせを考えて工夫して遊ぶなど、友達と一緒に遊びをさらに楽しいものにしていきます。



この季節、この時期ならではの遊びの中で、小さい時から様々な体験を通してその時に感じた気付きや発見を積み重ね、子どもたちの成長につながっていくよう、こども園での日々の教育・保育を充実させていきたいと思っています。

楽しかった水遊び

清輝保育園

暑くなった6月下旬から清輝保育園では水遊びが始まりました。昨年度に続き、大きな声を出さない、距離を保つなどのコロナ対策が十分できないためプール遊びはできませんが、水遊びで水に親しんだり、涼しさを感じたりして過ごしました。



0、1歳児の子どもたちは、水遊びが初めてで、不安そうな表情を浮かべる子どももいました。最初は、たらいに温水をはり、保育者と一緒に指先で触れたり、好きな動物のおもちゃを浮かべたりして遊びました。繰り返し遊ぶうちに慣れていき、水遊びが終わる頃には泣くこともなく、水が顔に飛び散っても「かかっちゃったねー」と保育者と笑い合うようになりました。

小さい子どもたちは特に、初めて経験することが多いですが、今後も季節の遊びや発達に応じた遊びを、楽しみながら経験できるようにしていきたいと思っています。

夏休み宿題お助け隊

定期考査前質問受け付け隊

入試直前質問受け付け隊、出動!

岡輝公民館



岡輝公民館で岡輝中学校区の小・中学校に通っている児童・生徒を対象に学習会を始めて4年目になります。2年目までは夏休み期間だけの学習会でした。しかし、夏休み期間中だけだと部活動等のために、中学生がほとんど参加できないということがわかりました。そこで昨年度は夏休みに加え、中学生対象に部活動が休みになる定期考査前の土曜日と3年生の入試前の土曜日にも実施する予定で計画をしていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で公民館が使用できなくなったり、岡山市で行っている学校支援ボランティアに大学生の登録がほとんどなかったりということで、仕方なく中止しました。公民館は学校ではないのですが、学習支援をするということでその制度に参加させていただいており、教員志望の大学生の派遣をしてもらっています。

今年も新型コロナウイルスの影響はありますが、昨年度できなかったことに挑戦しています。ソーシャルディスタンスをとらないといけない関係で、多くの児童・生徒を呼ぶことはできませんが、定員を超える申し込みをいただき、お断りもさせていただきました。

児童・生徒一人に一人の先生がついて教える形が望ましいと思っており、今年は岡山南高校の生徒にも先生として参加してもらっています。

1学期中間考査前と夏休み最後の学習会が緊急事態宣言のために中止になりましたが、8月末までに3回の学習会を行いました。コロナウイルスの影響がなくなれば、もっと多くの子どもたちに参加してもらえと思っています。

岡輝中学校区の小・中学校に通っている生徒だけを対象にしているの、公民館だよりやホームページ、Facebookには学習会のことは載せていません。その代わりに児童生徒全員にチラシを学校経由で配布していますので、それで確認してください。

次回は、岡輝中学校の2学期中間考査前10月16日(土)に実施します。

富田保・コロナ禍の中、様々な行事を行いました

富田保育園 園長 本屋亮一

◆2021年度“うらじゃ”をしました



残念ながら、今年も岡山うらじゃが中止となりました。富田保育園では2011年から岡山うらじゃに参加し広和魁として10年の節目となる演舞を楽しみにしていました。

今年の年長児も小さい頃から、保育園のお兄ちゃん・お姉ちゃんの頑張る姿を見て育ったので、広和魁として

無観客ではありましたが演舞を行いました。

コロナ禍で様々な行事・イベント等が中止になり大変な時期ではありますが、岡山うらじゃに参加させていただき、温羅の魂を次の世代に繋いでいく事も大切だと実感しました。

新たな試みとして、保護者の方にも演舞を見ていただきたくて富田保育園公式YouTubeチャンネル“とみちゃんねる”を開設し限定公開にて閲覧できるようにしました。

◆夏まつりをしました

昨年は開催を断念した“夏まつり”ですが、子どもたちはとても楽しみにしていたので今年は例年とは違う形で開催できないかと職員と話し合いを繰り返し、保護者の方は参加しないという形式で“夏まつり”を行いました。

午前中の短い時間ではありましたが、ヨーヨーつり・スーパーボールすくい・スイカたたきと出店を開き各クラス単位で時間差になるように工夫しました。

給食では、例年出店している食べ物をお弁当に詰め込んだ屋台弁当を給食の先生が作ってくれて、いつもと違う給食に子どもたちは大喜び♪おやつはかき氷を作って、みんなでテラスで食べました。

コロナ禍でも様々な行事を工夫する事で、子どもたちが楽しめるようにする事が職員にとっても良い経験になりました。



岡輝中学校区 学校運営協議会学校園部会 夏季合同研修会が実施されました



7月29日(木)・30日(金)は、清輝保育園・岡南認定こども園に清輝小・岡南小・岡輝中の教職員が保育参観に訪れました。保育士の先生方が、一人一人と目を合わせて関わる姿を見て、幼児教育の大切さと大変さを改めて感じました。

7月30日(金)は、岡輝中学校を会場に「今、求められている特別支援教育」という演題で、服部道明校長先生にテレビ放送でご講演いただき、その後グループで特別支援教育や就学・進路指導について熱心に話し合いがもたれました。

「0歳から15歳までの責任ある保育と教育」を掲げる岡輝中学校らしい研修会でした。



無事を知らせる「黄色いリボン」 神田町中央町内会

岡南小学校区の神田町中央町内会では昨年2月より自主防災チームを結成し、災害時にも強い街づくりを目指して活動を行っています。この度、災害の時にわが家の無事を知らせる「黄色いリボン」を町内の各家庭に配布しました。

「黄色いリボン」は災害時に「うちは大丈夫」の目印として、各家庭で全員無事なら玄関や門に結んでおくことで目印がないと助ける側の人から「このおうち、けが人はいないかな?ちゃんと避難できたかな?」となり、逃げ遅れた方がいないか1件1件声掛けしていかないとけがなになります。災害時にそのようなことをしては本当に助けが必要な方が助からなくなってしまいます。このリボンを玄関や門に結んでおくことで「このおうちは大丈夫!」と分かり、助けが必要な方のもとにいち早く駆けつけることができるということで全過程に配布を行いました。

各家庭にはこの「黄色いリボン」を普段から玄関の棚などに準備しておき、災害時に全員無事なら道路から見て分かる場所に結んでおくようお伝えしています。

私たちの町内会ではこれまでに『黄色いリボン』以外にも日本赤十字社の方による救急救命講習や避難訓練を実施しています。避難訓練では実際に避難所になる岡山南高校までみんなで歩いて行き、その道中の危険箇所などを把握することも行いました。

そして、避難訓練の際に岡山南高校まで歩くのは大変という方も多かったため、災害などの緊急時にサポートが必要かどうかのアンケートを町内で実施し、ご年配の方や障害をお持ちの方など、避難が困難な方の把握も進んでいます。また、不定期ですが「自主防災だ

自主防災だよりも発行しています!



より」を発行し、各家庭に回覧して防災意識を高めていただいています。

コロナ禍で集まったり集まれなかったりということが続いているが、ほぼ毎月1回は40代~60代のメンバーが集まり、災害に備えた活動を行っています。

地震による災害、大雨による水害、そのほかにもいろいろな災害の危険性が年々高まっている中で、神田町中央町内会では私たち自主防災チームが中心となり、実際に災害が起こった際には隣近所お互いに助け合える環境を創るとともに、災害から早く立ち直ることができる地域になるようこれからも活動を進めてまいります。

神田町中央町内会 自主防災チームリーダー 鈴木祥成

岡南小 卒業生に贈るメッセージ

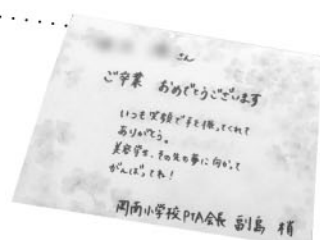
岡南小学校PTA会長の副島さんは、令和2年度卒業生ひとりひとりにメッセージカードを贈られたと、風の噂で聞きました。卒業式から半年が過ぎたので、副島会長さんにお話を伺いました。

「昨年度の卒業生たちは、本来体験・経験すべき6年生としての学びを、コロナ禍でその多くのチャンスを獲得することができませんでした。PTA会長としてではなく一人の親として、岡南小学校を卒業する子どもたちに「6年間良く頑張ったね」と言葉を掛けてあげたかったからです。ひとりひとりにメッセージを書いて渡しました。『いつまで

も傍らで見守っている誰かがいるよ』ということが伝わってくれたら私も幸せです。」

副島会長は優しいまなざしで、子どもたちの傍にたたずんでおられます。会長に限らずPTA運営委員の皆さんも、誰が彼がではなく、みんな同じ気持ちで子どもたちを見守っておられますし、岡南小学校の保護者の方々も同じ気持ちで寄り添っておられました。

取材：ちくたく編集委員 三村



急募

共に学ぶ 学区のシニアの皆さんを 募集します

岡輝学区の皆さん！ 公立の小中学校の中に、全国唯一の「NPO法人」があることを知っていますか？ 地域と学校園との協働の場所「シニアスクール」です。岡輝中・清輝小・岡南小で、地域に暮らす高齢者の皆さんの学びの場、そして「子どもたちと共に学びましょう！」という合言葉のもと、2003年9月にスタートした取り組みです。当初、全国初の取り組みとして、多くのメディアに取り上げられ、新聞テレビ等の取材もあり、多くの高齢者たちが参加され改めて「学ぶ喜び」「語り合う喜び」を体感していただきながら、18年間を過ごしてまいりました。

開校当時、地域の高齢者の皆さんの生徒が数多く参加されていましたが、残念ながら、その数は徐々に減少しています。

そこで今回、学区の高齢者の方々に「シニアスクール」への入学を声を大にして呼びかけたいと思います。もう一度、地域の小中学校で学習しませんか？ 新しい仲間と語り合いませんか？ きっと驚くほどの喜びや出会いがありますよ。



山陽新聞
2003年8月28日

発足当時の新聞記事



朝日新聞
2003年9月2日

私たちがシニアスクールの活動を応援しています

平成15年9月に全国初のシニアスクールを開校されて以来、長年にわたり先進的な取組をしてこられた事務局を始め、講師の先生方や関係者の皆様の御努力に心から敬意を表します。

超高齢社会を迎えた本県において、シニアの方が学校という地域の身近な場所で、学び、体験できるシニアスクールは、生涯学習の充実に大きく貢献することはもちろんのこと、子どもと交流することによりシニアの方御自身の元気の支えになったり、学校教育の充実に繋がり、優れた取組であり、全国に誇ることができる良い事例として他の地域にも広まることを期待しております。

今後も、関係者の皆様の益々の御健勝と、シニアスクールの更なる発展を心からお祈り申し上げます。



岡山県知事
伊原 木隆太



岡山市長
大森 雅夫

人生100年時代といわれる今日、高齢者を含む誰もが生涯を通じて健康で、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会の実現が求められています。

「子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール」は、子どもたちや地域の方々との多世代交流・共生の場として、全国的にも注目されている岡山市が誇る取組の一つです。そして、その取組は世界中で取り組まれているSDGs（持続可能な開発目標）の掲げる「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」へとつながっています。

多くの向上心のある高齢者の方々に、シニアスクールにご参加いただき、新たな出逢いや学びを広げつつ、これまでに培ってきた豊かな知識・経験を活かし、地域社会の担い手としてぜひ活躍いただきたいと考えています。

NPO法人
子どもたちと共に学ぶ教室
シニアスクール
公式サイト

<https://seniorschool.website/>

QRコードで
簡単チェック!



シニアスクール
についての詳細は

P8へ



今、行政が注目！ 社会が注目！

シニアスクールはこんな所だよ！

◆シニアスクールで介護予防——心身ともに健康で美しく生きよう

- 学校の空き教室を借り、学校と同じように時間割にそって8教科の勉強をします。
- 元小中高大学等の先生が、テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業をします。
- 子どもと同じ給食を食べます。
- 4月に始まり、子どもたちと同じように入学式、夏休み、運動会、学習発表会、遠足、修了式などもあります。
- 三世代同居の雰囲気の中で学校生活を送っています。
- 友だちをつくりたい、規則正しい生活をしたい、学びたいなどの思いを充足することで、認知症の予防には最適な場所になっています。



詳しい情報はHPをチェック！



給食



体育の授業風景「ディスコン」



理学療法士による「健やかに老いるためには」



遠足



岡輝中学校文化祭にて「岡山シニアスクール愛唱歌」合唱



授業風景

岡輝学区の自慢 シニアスクール

生徒募集中！！

いつでも入学できます

平成15年9月、新しい学校の在り様を求め全国初のシニアスクールを岡輝中学校で試行開校しました。以来19年を迎え、多くの人に支えていただきながら、3校で約50名のシニアの方々が学びあっています。「生きることとは学ぶことである」という生き方、そして各校においては児童生徒との繋がりを通して、穏やかな学習環境を作っています。3教室ともそれぞれ特色がありますので、お問い合わせの上、ご入学ください。

シニアスクール開校場所

- 岡輝教室 … 岡山市北区岡町 12-17 岡山市立岡輝中学校内
- 清輝教室 … 岡山市北区新道 1 岡山市立清輝小学校内
- 岡南教室 … 岡山市北区岡南町 2-4-5 岡山市立岡南小学校内

授業について

- 岡輝教室 … 週3日【月・水・金】 ●清輝教室 … 週2日【火・金】
- 岡南教室 … 週1日【金】
- 授業時間 … 原則として1日5時限【午前中4時限(2・3教科) 午後1時限】
- 履修科目 … 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・英語
- 子どもと同じ給食あり(実費)
- 子どもたちとの交流を目的としたもの … 交流会・文化祭・運動会・総合学習
- 3教室の交流を目的とした遠足等の実施

講師について

- 各教科4～5名 現在40名の優秀な講師陣

必要経費(給食費・遠足費別)

- 授業料 … 岡輝教室(月4,500円 11ヶ月分割払い)
清輝教室(月3,500円 11ヶ月分割払い)
岡南教室(月2,500円 11ヶ月分割払い)



山陽新聞2013年2月9日号掲載

シニアとは…

シニアスクールにおける「シニア」とは、年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲を持っている方を募集しています。

お申し込み用紙はお近くの公民館にあります。



特定非営利活動(NPO)法人 **子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール**

〒700-0867 岡山市北区岡町12-17 [岡山市立岡輝中学校内]
TEL.086-232-0056(事務局)